

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 原子力防災対策費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 危機管理政策課 原子力防災室 電話番号：058-272-1111(内2448)

E-mail：c11117@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,896 千円 (前年度予算額：3,902 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,902	3,005	0	0	0	0	0	0	897
要求額	3,896	2,999	0	0	0	0	0	0	897
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

平成25年3月に策定した県地域防災計画（原子力災害対策計画）を踏まえ、県内での原子力防災講習会の開催や、専門機関が開催する研修受講などによる防災関係職員の人材育成を図る。

さらに、平常時及び緊急時における専門家からの助言体制を整備することにより、本県の原子力防災対策の充実・強化、並びに原子力災害発生時における迅速かつ的確な応急対策の実施を図る。

(2) 事業内容

ア 原子力防災研修費

原子力防災に携わる職員（県、市町村）への専門的知識の付与、及び近県原子力防災訓練への職員派遣により、原子力防災関係職員の人材育成を図る。

- ① 県内での原子力防災講習会開催
- ② 専門機関が開催する原子力防災研修受講
- ③ 県外原子力防災訓練への職員派遣

イ 原子力災害専門家設置費

- ① 平常時の助言体制整備

原子力分野及び医療分野の有識者〔専門家（アドバイザー）〕から、本県の原子力防災対策に資する助言を受ける

- ② 緊急時の助言体制整備

原子力災害発生時における初動期に、原子力施設における事故の進展予測及びモニタリングデータに基づく放射線防護対策等に関し、前記有識者から助言を受け、迅速かつ適切な初動対応を行う

(3) 県負担・補助率の考え方

緊急時の助言体制整備を除き、国10/10（原子力発電施設等緊急時安全対策交付金対象事業）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	968	講習会講師謝礼、専門家謝礼
旅費	191	講師旅費、職員旅費、専門家旅費
需用費	41	消耗品、公用車燃料費
委託料	2,666	研修業務委託
その他	30	高速道路使用料
合計	3,896	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県地域防災計画（原子力災害対策計画）

第2章第4節 情報の収集、連絡体制等の整備

第8節 広域防災体制の整備

第20節 防災業務関係者の人材育成

(2) 国・他県の状況

国、原発立地県及び隣接県において、原子力防災に関する研修が実施されているほか、有識者からの意見を徴収するための機関が組織されている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

原子力防災講習会の開催や専門機関が開催する研修受講などにより、防災関係職員の人材育成を図る。さらに、平常時及び緊急時における専門家からの助言体制を整備することにより、本県の原子力防災対策の充実・強化、並びに原子力災害発生時における迅速かつ的確な応急対策の体制整備を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①県内での原子力防災講習会受講者数		106	80	80	80	100%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	(1) 県内での原子力防災講習会の開催 ・専門機関と協力し県内において原子力防災講習会を開催 (2) 専門機関が開催する原子力防災研修の受講 ・専門機関が主催する原子力防災研修を受講 (3) 原子力災害専門家からの助言 ・県地域防災計画、原子力防災訓練に対する助言・指導 等
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>岐阜県周辺における原子力災害の発生に備え、原子力防災に携わる職員の原子力災害対応能力の向上に加え、専門的見地からの助言を受けられる体制を整備する必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>県内での原子力防災講習会の開催により、警察・消防職員等防災業務関係者の知識・技能の習得、意識醸成を図ることができた。また、専門家から原子力防災対策に関する助言をいただくことで、県の原子力防災対策の充実・強化につなげることができた。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>県内での研修を行政機関施設において開催し、受講料のかからない専門機関の研修を受講する等、経費の削減を図った。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 原子力防災体制強化のため、継続的に原子力防災業務従事者の知識・技術の段階的な向上を図るとともに、今後も緊急時はもとより、平常時から専門家の助言を得られる体制を確認しておく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の防災業務関係者の人材育成を図るため、今後も原子力防災講習会の開催や専門機関が開催する研修を受講する必要がある。また、平常時、緊急時における専門家の助言は不可欠であり、今後も事業を継続する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
